

札幌市中央卸売市場活性化ビジョンの概要

第1章 基本的な考え方

- 趣旨**
・持続可能な強い市場づくり
- 特徴**
・開設以来初めて水産青果
合同での作成
- 策定までの取組み**
・ワークショップの開催
・市場活性化委員会の立上げ
・4つのワーキンググループで検討

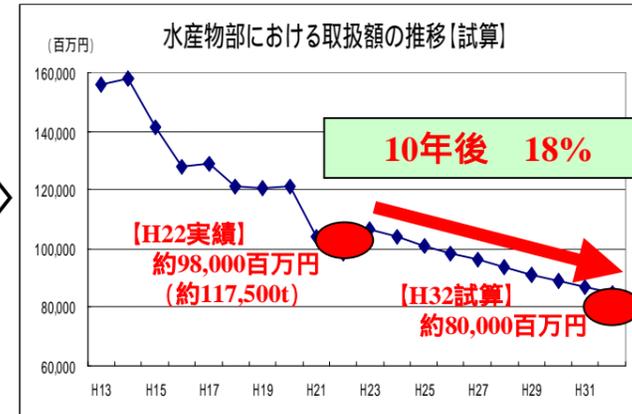
第2章 市場を取り巻く環境

- 取り巻く環境**
- 人口減少と少子高齢化
 - 市場外流通の増加
 - 消費者意識の変化

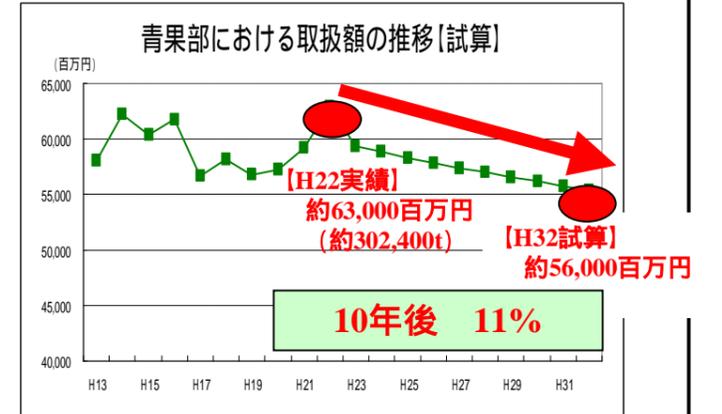
卸売業者4社の取扱額は
ピーク時(H10)から
35% (H22比)

仮にこのトレンドが
続くとすると、
10年後の試算は

水産物部



青果部



第3章 活性化ビジョン

当市場は中央拠点市場に指定
【国の第9次卸売市場整備基本方針】

私たちが取り組むこと

緊急課題1

環境にやさしい市場づくり

緊急課題2

災害に強い市場づくり

基本理念

北海道の
拠点市場
(中央拠点市場)

食の発信拠点

開かれた市場

ビジョンの4つの視点

販売力の強化

- ・小売組合による割引ポイントカード発行
- ・道産品の道外販売の強化
- ・量販との取引拡大
- ・他市場との共同集荷に向けた市場間協定

情報発信機能の強化

- ・食情報のメルマガ配信
- ・メディアを活用した道産ブランド品等のPR
- ・産地プロモーションの積極的受け入れ
- ・場内関係者の情報共有化

市場機能の強化

- ・取引ルールの最適化
- ・卸売業者等の産地訪問
- ・市場のハブ化
- ・卸売業者及び仲卸業者の経営基盤の強化

集客力の強化

- ・食育の普及促進(こども料理教室など)
- ・食関連イベントの実施
- ・近隣商業者との連携
- ・実感型見学プログラムの導入

私たちが取り組むこと

エネルギー

- ・太陽光発電システムの導入
など

【目標】電気・ガス30%削減

廃棄物

- ・資源リサイクル施設の設置
など

【目標】廃棄物50%削減

東日本大震災の教訓

- ・物流機能の混乱
- ・震災発生時の対応

私たちが取り組むこと

- ・GS等とのガソリン調達協定
- ・食品の安全対策の実施
など

ビジョンの目標

ビジョンの取組み

市内販売

- ・量販の利用しやすい市場への変革
- ・消費拡大への取組み(食育の普及促進)など
- 【水産・青果】市内人口減少率 1%程度に維持

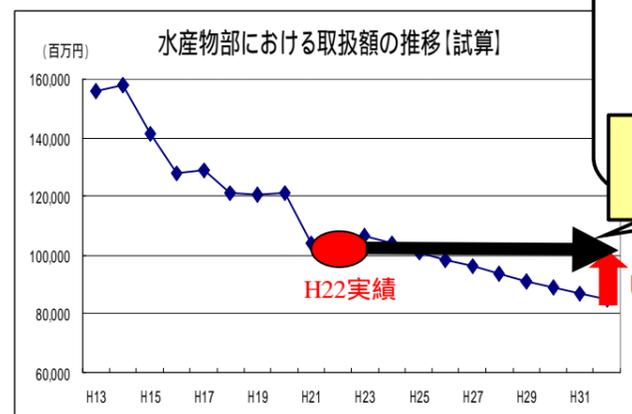
道内販売

- ・道内他市場との市場間協定の締結 など
- 道内他市場のシェア率倍増
(道央圏13% 30%、その他圏域6% 10%)
- 道内生産年齢人口減少率 18%のところ、
【水産】 3%程度に維持 【青果】 9%程度の増加

道外販売

- ・道産品の道外販売の強化 など
- 【水産・青果】 10%程度の増加

水産物部



青果部

